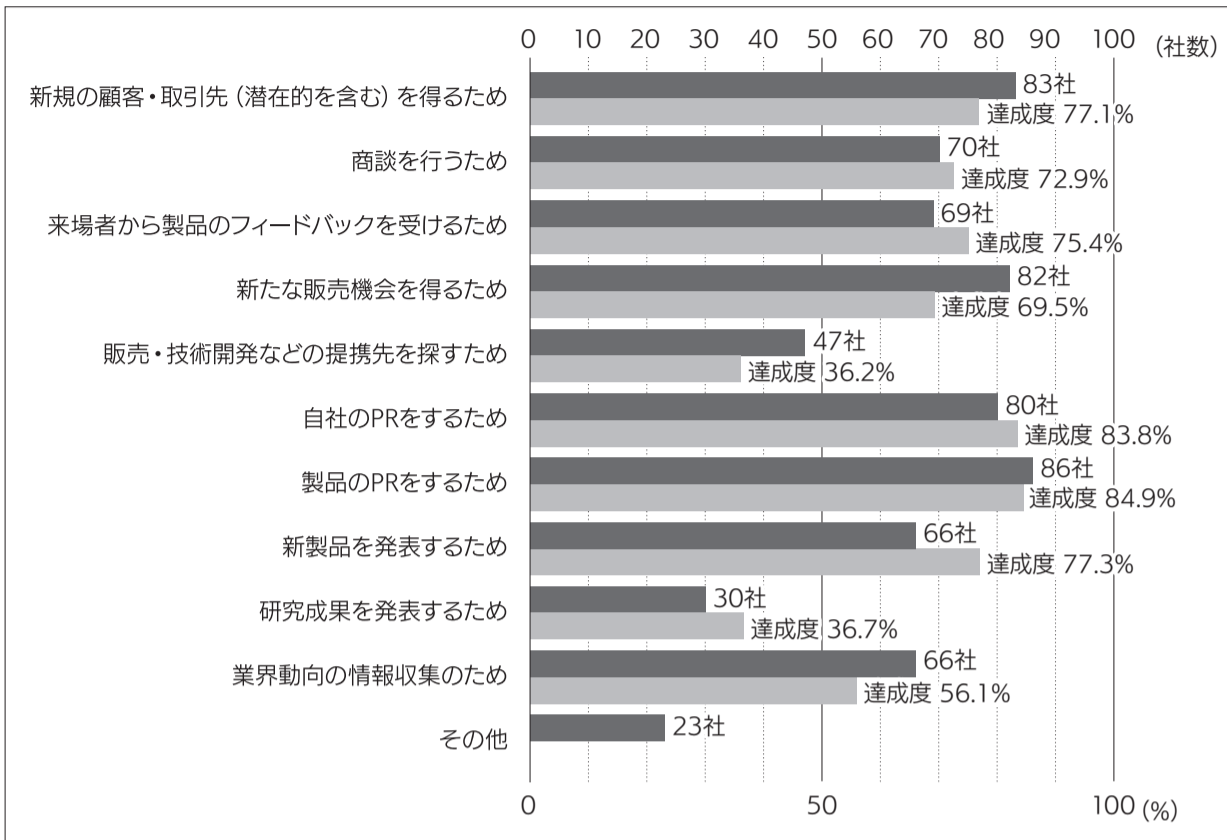


11 | 出展社アンケート結果 — 出展社89件回収

① H.C.R. 2021への出展の目的と達成度〔複数回答〕



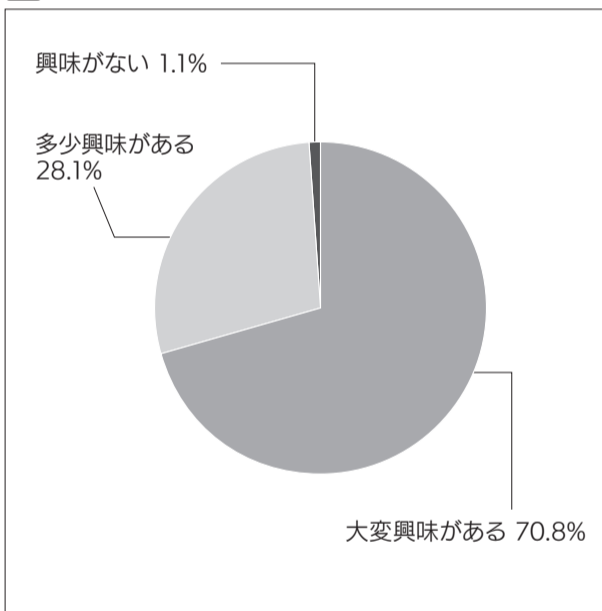
達成度：「i. 達成できた」「ii. 多少達成できた」「iii. あまり達成できなかった」「iv. 達成できなかった」の4択のうち、i・iiの割合の合計



その他の例

- ・ 出展社同士の情報交換
- ・ 卸会社との親交を深める
- ・ 既存顧客との関係性向上
- ・ リードの獲得
- ・ 業界動向の情報収集のため
- ・ 書籍の販売実績を高めるため
- ・ 来場者への機器の重要性周知

② H.C.R. 2022への出展予定



③ ご意見、ご要望 (一部抜粋)

1. 会場が青海展示棟になったため、来場者が会場内全体を周りやすいようでした。出展社としても個別に対応ができ、一人ひとり濃い内容のお話ことができました。
2. コロナ禍になってはじめての開催で不安もありましたが、多くの来場者の方にブースに立ち寄っていただけました。
3. H.C.R.を1年の内でPRの場として軸に置いています。次回もぜひ出展したいです。
4. 2年ぶりとなるリアルな展示会に、来場者も出展社も「待っていた」というような熱気と活気を感じました。
5. リアル展とWeb展の連動をもっとわかりやすくしてほしいです。
6. SNSをさらに活用した広報を期待したいです。
7. 製品開発を一緒に実施していただける企業に巡り会うことができました。
8. 福祉用具レンタル事業所の担当者や直接話ができ、販売のためのヒントを得られました。
9. コロナ禍で製品を直接対面で紹介できる機会がなかったのですが、H.C.R.で多くの人に見ていただける場となりました。
10. 介護・福祉施設等関係者や、遠方からの来場者が少なく感じました。コロナの終息後、戻っていただけるようにいっそうの広報をお願いします。
11. 会場規模の縮小や、来場者数が例年と異なっており、例年ほどの効果は見込めなかったと思いました。
12. 福祉機器を必要とされる利用者や関係者などから製品に高評価をいただくことができました。また、改善につながる話もでき、有意義な時間となりました。
13. エンドユーザーに直接、商品要望について調査することができました。
14. 全体の来場者数は減っていますが、会場が縮小したぶん個々のブースに立ち寄っていただける機会が増えていたように思いました。
15. 次回は東展示ホールに戻るとのことなので、例年以上の集客に期待しています。

デンマーク福祉機器展示会 Health&Rehab Scandinaviaレポート

2021年11月にコペンハーゲンで開催されたHealth&Rehab Scandinaviaは、個人・施設・病院を対象とした障害者・高齢者向け福祉機器・サービスを紹介する、ヨーロッパで最も古い展示会として知られています。その歴史は1960年代にさかのぼります。

展示会のオーナーは、デンマークの製造メーカー団体「DANISH.CARE」(旧：Danish Rehabilitation Group)。来場者に等しく最大メリットを提供するとする展示会の運営方法は、DANISH.CARE委員会(ザ・ボード)と10団体10人で構成されるアドバイザーボードによって、長年にわたって築きあげられてきました。

今年の出展社は200社強。来場者は、コロナ禍の影響を受け約6,000人と前回をわずかに下回りました。毎回恒例の新製品表彰には約40製品がエントリーされ、2021年の大賞1製品が選出されました。

さらに、200におよぶセミナーが開催されました。

なお、「START UP ZONE」の名称でCARE TECH CHALLENGEによる新企画が開催されました。これは社会事業分野の新たなサプライヤーとなる有望な発明家による新製品・新サービスを公募し表彰するイベントでした。

同展示会への出展社の反応はおおむね好評で、2年後の次回開催に期待の声が寄せられています。

次回は2023年5月23日から25日の間、開催される予定です。

同展示会の詳細は、<https://www.health-rehab.dk/> (英語ページあり) を参照ください。

レポート / H.C.R.欧州地域コーディネーター ベン・アポロ・ラスムセン氏

